



特集

- 第14回 TQM&医療介護活動交流集会・P2-3
- ちどり NEWS
- 2019年 災害訓練・診療部門対策本部・P4-5
- 医療トピック
- 血管撮影装置が新しくなりました!・P6
- カフェ&レストラン ChiyoChiyoの紹介・P7
- 千代診療所診療体制のご案内・P8



公益社団法人福岡医療団
千鳥橋病院

千鳥橋病院 検索

撮影者:ちどり写真クラブ

タイトル:「太宰府天満宮の梅」

撮影場所:太宰府天満宮(2017年2月11日撮影)

ち
と
り

千鳥橋病院・千代診療所広報誌

2020年 春号

通信
Vol.111

題字・書画人 国崎幸子

「ちどり通信」へのご意見・ご感想をお寄せください E-mail : soumu@fid.jp

第14回 TQM&医療介護活動交流集会について

千鳥橋病院

副院長 久保和彦



2019年12月15日(日)に、福岡国際会議場にて「第14回TQM&医療介護活動交流集会」が開催されました。会のテーマは昨年と同じく「5S」で、ソーシャル(社会的な目)を失わず、セーフティ(安全)、スピーディ(迅速)、シンプル(簡潔)、スタンダード(標準化)な医療を目指して、各職場・多職種で形成した全39チームが3つの会場に分かれて研究成果を報告してくれました。從来、TQM大会と医療介護活動交流集会は別々に開催していましたが、今

2019年12月15日(日)に、福岡国際会議場にて「第14回TQM&医療介護活動交流集会」が開催されました。会のテーマは昨年と同じく「5S」で、ソーシャル(社会的な目)を失わず、セーフティ(安全)、スピーディ(迅速)、シンプル(簡潔)、スタンダード(標準化)な医療を目指して、各職場・多職種で形成した全39チームが3つの会場に分かれて研究成果を報告してくれました。從来、TQM大会と医療介護活動交流集会は別々に開催していましたが、今

回からは合同大会として、TQMとして33チーム、医療介護活動として6チームの発表がありました。発表に先立ち、まずはオープニング企画として千鳥アンサンブル(職員有志)の7名の方々の演奏で幕を開けました。素晴らしい音色と調和で3曲演奏してくれました。その後に、基調講演を行いました。今年の基調講演のテーマは「QI (Quality Indicator)…医療の質の指標」ということで、医療情報管理課の水野友理恵課長から事務局会議の中で指標をいかに正確に算出してきたかというこれまでの取り組みとその改善効果について報告があり、続いてTQMにおけるQIの役割とインシデントレポートがいかに今後の医療の質の改善に重要なかという話をいたしました。事後のアンケートでも、QIが何を意味しているのか、QIを算出するためには事務がどれだけ頑張っているか、インシデントレポートがなぜ重要なのかがよく分かったというコメントが多くありました。その中でも、医局のコ

か、QIを算出するためには事務がどれだけ頑張っているか、インシデントレポートがなぜ重要なのかがよく分かったというコメントが多くありました。その中でも、医局のコ

ちどりアンサンブルの演奏



続けて、3つの会場に分かれて1会場13チームずつ研究成果を発表してもらいました。どの会場も活発な質疑応答がなされており、参加者の医療の質向上へ向けた意識の高さがうかがえました。今年

から賞の選定に当たり、2名の座長と2名の審査員の方々に一定の基準に則って「採点」していただきこととしました。おかげで、会場間の格差のない賞選定ができま

各賞受賞チームとテーマ	
最優秀賞 C会場優秀賞	せん妄チーム：多職種混合 発表者：佐藤友子（西4病棟） テーマ 急性期病棟における認知症の取り組みと課題 ～せん妄ラウンドを通じて～
A会場優秀賞 医活賞	CGAチーム：千代診療所 発表者：寺尾侑華（千代診療所保健師） テーマ 高齢者に優しい診療所を目指して ～高齢者総合機能評価(CGA)アンケートにとり組んで～
B会場優秀賞 友の会賞	今日も楽しく！院内デイ！チーム：看護局 発表者：周實まり（看護局） テーマ 患者さんも楽しく、病棟から頼りにされる院内デイを目指す
実行委員長賞	輸血ワーキングチーム：多職種混合 発表者：成富浩太郎（電算室） テーマ 漏れなく、ムダなく、簡潔な輸血実施

2019年 災害訓練実施レポート



診療部門エリア
桝島 久恵
(ICU・HCU 病棟師長)



対策本部エリア
成松 史 総看護師長

2019年11月16日(土)に、千鳥橋病院の災害訓練が実施されました。各エリアのレポートを紹介します。



災害訓練では、ERを中心に行なった。治療エリアを設置し、患者トリアージ・処置・治療を行いました。対応患者数は昨年の10名に対し、今年は23名と2倍以上に増やして実施。赤タグ患者3名、黄色タグ患者5名、緑タグ患者12名、小児3名と今回は緑エリアも設置し、全てのエリアが機能した形での患者訓練を行いました。今回設置した緑エリアは、災害が起こったとき

に一番患者が多くなることが予測され、日常からの訓練がとりわけ重要となるエリアです。帰宅困難者や内服紛失者への対応など、外傷による処置だけでなく災害によつて起こる色々な問題への対応が必要になります。

診療エリアアリーダーの有馬医師を中心として、研修医など経験の浅い医師が各診療エリアを担当することとなり、診療エリアで混乱はあつたものの、看護・事務とも連携をはかり対応にあたりました。

災害は予告なく突然起こります。いつ誰が遭遇したとしても同じように対応ができる診療エリアを目指したマニュアルの見直しが今後の課題となります。



じょうに対応ができる診療エリアを目指したマニュアルの見直しが今後の課題となります。

まだ課題は沢山あります。しかし、このような災害訓練を積み重ねていくことで、困難な状況にあつたとしても乗り越えて行くことができる感じました。

災害訓練の対策本部を医局カンファレンスルームに設置、山本院長を対策本部長とし、補佐に事務長・総看護師長を置きました。また、対策本部を人的支援・設備支援・物流支援・家族支援・情報の7つの統括部門に分けた行動しました。13時30分～15時30分まで救急車搬入を止め大がかりな災害訓練としては、今回で2回目となります。1回目に比べ多少は対策本部機能として改善したと思いますが、情報が錯綜し、情報の集約が上手くいかない状況も多分にありました。また、今回は救急センターとテレビカメラで状況の共有ができたのは指示判断する上では効果があったと思います。

災害時に千鳥橋病院として地域を守る役割を發揮するには、まだ



当院では2019年9月、FPD(Flat Panel Detector)型血管撮影装置「Trinias C12 unity edition」(島津社製)を導入しました。

FPDとは、被写体を透過したX線を平面検出器で受け取り、デジタル信号に変換し画像を得る装置です。これによつてX線透視や血管造影に必要な高精細で高画質の画像が低線量で可能となり、PCI(経皮的冠動脈形成術)や、PTA(経皮的血管形成術)といったIVR(画像下血管内治療)手技において大きなメリットが得られ、患者様にリスクが少ない治療を行うことができます。

また、今回導入された装置には血管治療を支援する様々な機能が付属されていますので、その一部をご紹介します。

①最先端のリアルタイム画像処

当院では2019年の9月、FPD(Flat Panel Detector)型血管撮影装置「Trinias CI2 unity edition」(島津社製)を導入しました。

FPDとは、被写体を透過したX線を平面検出器で受け取り、デジタル信号に変換し画像を得る装置です。これによつてX線透視や血管造影に必要な高精細で高画質の画像が低線量で可能となり、PCI(経皮的冠動脈形成術)や、PTA(経皮的血管形成術)といったIVR(画像下血管内治療)手技において大きなメリットが得られ、患者様にリスクが少ない治療を行うことができます。

また、今回導入された装置には血管治療を支援する様々な機能が付属されていますので、その一部をご紹介します。

①最先端のリアルタイム画像処理技術による高画質の画像が、先進の血管治療を支援します。また放射線量を最適に組み合わせることで低被ばくでの治療が見込めます。

②リアルタイム処理を駆使した血管治療支援アプリケーションにより、心臓の拍動で動くステントをリアルタイムで固定して表示し、ステント留置時の位置関係の把握や

ステントの形状把握に適した画像を提供することで、高度な血管治療を支援します。

③装置の動きと組み合わせた3次元的な造影検査が可能になりました。また最速 $60/\sec$ の回転撮影により、造影剤注入時

写真②

間の短縮による負担軽減と、動きによる画像への影響を抑制することによる高画質を両立することができます。

④全下肢の追跡造影や、一度の造影で撮像した画像をつなぎ合わせて下肢全体を表示する長尺画像の作成も可能で、下肢血行走行の全体を把握することができます。(写真②)

千鳥橋病院では今後ともクリティカルな高い医療・IVRを目指すとともに、「よりよい患者様のための医療」を続けていきます。



血管撮影装置が新しくなりました！

MEDICAL TOPIC

医療トピック

千鳥橋病院 放射線部
石橋 浩一 診療放射線技師

千鳥橋病院の理念

- 無差別・平等の医療 「患者の人権」を尊重した医療をすすめます
- 安全・安心・信頼の医療 患者さまや地域の方々とともに医療の質の向上につとめます
- 安心して住み続けられるまちづくり 保健・医療・福祉のネットワークを広げます
- ヘルスプロモーション活動の推進 HPHとして、患者、地域、職員の健康づくりをすすめます

千鳥橋病院の医師研修理念

「各科に共通の確かな基本的力量と豊かな人権意識、健康増進への意識を備えた、地域医療を志向する医師」を「それぞれの研修医を主体者にして」養成する。当院は、厚生労働省より「基幹型臨床研修病院」に指定されています。

千鳥橋病院 看護の理念

「患者の権利」を尊重し、安全で安心できる、差別のない看護を提供します。

ちどりフェスティバル

クイズに答えて QUOカードをGET!

TQM&医療介護活動交流集会において、開演に先立ち合奏サークルの方がバイオリン、クラリネット、フルート、サックス、ベースの素晴らしい音色を聞かせてくれました。この合奏サークル名はなんでしょうか?

- ①千鳥トライアングル
②千鳥アンサンブル
③千鳥ハーモニー演奏団

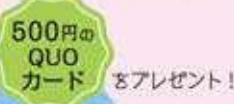
サークルでは仲間を大募集しています! 応募でも連絡お待ちしています!
(連絡は臨床工学科講義まで)

正解者の中から抽選で5名様に

応募方法

官製ハガキかFAXもしくはEメールに、
クイズの答え・住所・氏名・電話番号・本
誌の感想、ご意見、日常の身の回りの出来事
などを書いてお寄せください。

ハガキ…… 〒812-8633
「ちどり通信クイズ」係
FAX…… 092-633-3311
Eメール…… soumu@fid.jp



締め切りは 2020年
4月30日(木)

※当選の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
前回10月・冬号の答えは③「能面模」でした。

千代診療所 診療体制のご案内

- 都合により休診となることがあります。お電話で確認後ご来院ください。
- 紹介状をお持ちの方は、まず電話にてご連絡をお願いいたします。
- 一般内科はできる限り 15:00までにご来院ください。

[2019年10月~]

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日
診療科目	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科（一般内科）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外 科	10:00迄 ◇ 第1・第3	10:00迄 —	10:00迄 —	10:00迄 —	10:00迄 —	10:00迄 —	10:00迄 —	10:00迄 —	10:00迄 —	10:00迄 —	10:00迄
整 形 外 科	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—
脳 神 経 外 科	○	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—
小 児 科	○	○	○	—	○	○	○	—	○	—	—
産 婦 人 科	11:00迄 ◇	11:00迄 ◇	11:00迄 ◇	11:00迄 —	11:00迄 —	11:00迄 —	◇	11:00迄 ◇	11:00迄 ◇	10:30迄 ◇	11:00迄
乳 腺 外 科	—	◇	—	—	◇	—	—	—	◇	—	◇ 第3
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	11:00迄 —	—	10:30迄 (変更あり)	—	11:00迄 —	—	10:30迄 (変更あり)	—	11:00迄 —	—	第2・第4 11:00迄
皮膚科	○	—	10:30迄 —	—	—	—	○ 第4 11:00迄	—	10:30迄 —	—	—
眼 科	○	15:00迄 ○	—	○	15:00迄 ○	—	○	—	○	15:00迄 ○	第1 第3 ○
泌 尿 器 科	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—
アルコール外来	—	—	第2 ◇	—	—	—	—	第2 ◇	—	—	—
その他（予約制）			禁煙外来 労働衛生外来		月・水の午後 木の午後						

受付時間 ○ [午前] 8:00~11:30 〈診療開始〉 9:00~ 脳神経外科は 9:30~
[午後] 12:30~16:00 〈診療開始〉 13:30~ 内科・小児科は 14:00~
◇ 予約制（前日までに予約をとりご来院ください）

土曜は週および診療科によって
受付時間が変わりますので、
お問合せください。

ホームページでもご確認できます
<https://chiyoshin.com>



千鳥橋病院・千代診療所は
敷地内全面禁煙になっております。

千代診療所（代表） 092-651-0726

千鳥橋病院（代表） 092-641-2761

千鳥橋病院は 24 時間 365 日対応の救急指定病院です。
救急車の受け入れ、急患の対応を行っています。